

『第5回沖縄県初期臨床研修指定病院合同説明会』開催報告

実行委員長（5年次）：新里建人

実行委員（5年次）：富名腰朝史 古波蔵美幸 城戸口啓介 高橋 啓
小濱さゆり 平田真則 藤原雅和 森迫瑠貴

琉球大学医学科同窓会の皆様、こんにちは。29期生の古波蔵美幸と申します。平素より皆様には同窓会の活動を通じて大変お世話になっております。この度、「第5回沖縄県初期臨床研修指定病院合同説明会」を医学科同窓会の後援のもと無事に執り行うことが出来ましたので、ご報告をさせて頂きたいと思っております。

平成16年度より新臨床研修制度が充実し、医師免許取得後2年間は臨床研修指定病院における研修が必修化されました。同時に研修病院を自分で選ぶマッチング制度が導入され、それにより医学生は初期研修の病院について強く意識することとなったとお聞きしております。しかしながら、在学中に病院見学をさせて頂く機会はそう多くはなく、また県外で多く行われているような病院説明会も沖縄県ではほとんど開催されていないのが現状です。そのため琉球大学の学生は、研修先の病院についての情報を得る機会が少ないのではないかと言われてきました。そこで、県内の臨床研修指定病院が一堂に会し、琉球大学の学生を対象にした合同企業説明会ならぬ合同病院説明会を行うこととなり、今年度で5回目の開催を迎えることができました。回を重ねるごとに病院側と学生側の多様なニーズに沿った、よりよい説明会となっているのではないかと思います。

さて、今年度の合同病院説明会は、県内の15の研修指定病院すべてが参加して下さいました。学生は少なくとも100名以上が参加し、40名以上の病院関係者の方がお見えになりました。開催方法としましては、

昨年度と同様にプレゼンテーション会場とブース会場を設置し、その2つを並行して進める形をとりました。プレゼンテーション会場では各病院が順次にプレゼンテーションを行い、また各病院の研修の特徴を把握していない学生に対して、全ての病院の説明が受けられるようにしました。また昨年度より始めたブース会場は、各病院専用のブースを常時設置し、ある程度研修先を絞り込んでいる学生に対して、より詳細な説明を個別に受けることが出来るように設置しました。昨年度はブース会場が予想以上に好評で、ブースに学生が収まりきれないなどの事態も発生したため、今年度はプレゼンテーション会場とブース会場の部屋を入れ替え、病院側と学生側の双方がより快適に過ごせるように工夫しました。この変更点については実際に病院関係者の方々や参加学生から高評価を頂いたので、来年度以降も継続していきたいと考えております。今回の反省点としましては、会場の広さや造りの関係上どうしても病院間での不平等が生じてしまうこと、1~4年生への広報活動が不十分であったことなどが挙げられました。これらの反省点を次回に生かし、さらなる改善を重ねていきたいと思っております。

最後になりましたが、今回ご協力頂きました病院関係者の皆様、企画の段階よりご支援頂きました医学科同窓会の皆様に対しまして、学生を代表し厚く御礼申し上げます。今後とも、学生と研修病院のよりよい架け橋となれるよう努めていく所存でありますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

